

|        |               |
|--------|---------------|
| 協議会等   | 沼島航路確保維持改善協議会 |
| 評価対象航路 | 沼島航路          |

## 二次評価結果

○事業実施の適切性について、評価できる。

運航回数は運航計画を下回ったが、これは安全確保のための悪天候等を要因とした欠航によるものであり、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も基本的な感染症防止対策を実施し、定期運航を確保した。

○目標と効果の達成状況については、評価できる。

旅客輸送量は、目標や前年度実績を上回った。これは、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後も感染防止対策を徹底したことや、再開された地元行事を契機とした観光客の取り組みが功を奏したと考えられる。

収益は、輸送量の増加によって拡大したが、燃料価格高騰等が続き費用が拡大、赤字となった。しかし、航路改善計画に基づく経費の削減に努めた。

○まとめ

全体を通して、評価できる。

協議会においては、引き続き感染拡大防止対策を徹底しつつ、効率的な運航に努めるとともに、関係者と連携して利用客の増加に向けた取り組みを行うなど運航収益の増加を図り、安全・安心な公共交通機関として、航路の維持・確保に努められたい。